

# 令和3年度 第1回五泉市総合計画審議会 議事要約

日 時：令和3年10月22日（金） 9：30～11：30  
場 所：総合会館 2階 第1会議室  
出席者：市長、委員23名  
欠席者：横野恒明 委員、澁谷隆 委員、金子義伸 委員（3名）

## 1. 開会（事務局）

第1回五泉市総合計画審議会を開会する。

## 2. 委嘱書の交付

市長より委員代表者に委嘱書を交付（各委員には委嘱書をあらかじめ配布）。

## 3. 市長あいさつ（全文）

日頃より、皆様におかれましては市政運営にご理解とご協力を賜り、誠に感謝申し上げます。また、この度はご多用の中、総合計画審議会の委員をお引き受けいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、平成29年度にスタートいたしました「第2次五泉市総合計画」に基づき、将来像『ずっと五泉。～次の一步を、ともに未来へ～』の実現に向けて、市民の皆様が「住んでよかった 住みたいまち ごせん」と感じてもらえるよう、様々な事業に取り組んでまいりました。

この第2次五泉市総合計画は、令和8年度までの10年間を計画期間としており、令和3年度は前期5か年の最終年度となります。

そこで、将来あるべき五泉市の姿を想像し、さらなる発展に資するため、令和4年度からの5か年の後期基本計画の策定に向け進めているところであり、このたび、後期基本計画の原案がまとまりましたので、皆様からご審議をお願いするものであります。

審議につきましては、本日から11月16日までの間に計4回を予定しており、短期間で集中した審議で多大なご負担をおかけすることとなりますが、何卒よろしくお願いたします。

本日は、市民を代表するお立場といたしまして様々な分野からお越しいただいておりますので、忌憚のないご意見、ご提言を賜りますようお願いを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

## 4. 自己紹介

審議会委員、事務局の自己紹介。

## 5. 審議会の組織及び運営に関する説明

事務局より、五泉市総合計画審議会条例に基づき、上記について説明。

## 6. 会長・副会長の互選

事務局の推薦と委員の賛同により、会長に川口幸平委員、副会長に樋口哲夫委員を選出することに決定。

- 川口会長あいさつ
- 樋口副会長あいさつ

[定数の確認]

委員の出席数について、委員 27 名中、23 名の出席を得ており、総合計画審議会条例第 6 条第 2 項により審議会は成立。

## 7. 第 2 次総合計画の諮問

市長より川口会長へ、第 2 次総合計画後期基本計画案を諮問。

## 8. 議事

- 議事 (1) 目的・全 4 回の工程について
- 議事 (2) 総合計画について
- 議事 (3) 第 2 次総合計画の策定経過について

(事務局より上記議事について一括説明)

[質疑応答]

### ●湯浅善章委員

後期基本計画の策定経過について、策定部会において市民意識調査の結果等をもとに素案の策定を行ったとの説明があったが、調査のうち自由意見欄の内容についても検討材料となっているか。

### ○事務局

各部会には自由意見も含めてすべて情報を共有している。

### ●加藤恵子委員

実施計画は毎年度見直しを行っているとの説明があったが、どのような点を見直しているかは資料 No.9 から読み取れるか。

### ○事務局

配布資料からは確認できない。

- 議事 (4) 審議 (後期基本計画について)

テーマ①～③について審議

[質疑応答]

質疑なし。

[意見]

■テーマ①：施策No.1、2

●湯浅善章委員

令和2年実施の国勢調査における五泉市の人口を教えてください。また、学校が地域と連携・協働して実施した地域協働活動について、令和2年度に実施した学校はどの学校か。

○事務局

令和2年国勢調査における五泉市の人口は47,650人（速報値）。地域協働活動は小学校全9校、中学校全4校で実施した。コロナウイルスの影響によりやや少ない数字となっている。

●桑原貞行委員

いじめ、不登校の解消のため、相談体制の確立、支援体制の構築など記載されている。後期に向けた書き方ではあると思うが、それでは今まではどうだったのか。また、いじめ、不登校は減ってきてはいるのか。

○事務局

計画については前期基本計画から内容をすべて修正しているものではない。前期から継続している事業も多い。いじめ、不登校対策としては、スクールカウンセラーの配置や心の教室相談事業を実施しており、引き続き事業を行っていきたいと考えている。小学校の不登校は増加傾向、中学校はほぼ横ばいが現状である。施策の下にぶら下がっている事業の見直しは行っているので、担当課に情報提供していく。

●武井恒美委員

児童・生徒へのタブレット端末の配布率が100%となったと説明があったが、全国的に同様の事業が進んでいることにより、教職員が見えないところでのいじめが発生しているため、次世代を担う子どもたちに時勢に合った対応をお願いしたい。不登校も全国的に増えていると聞くので、引き続き配慮をお願いしたい。

●渡部久子委員

児童・生徒に配付されたタブレット端末は、学校で使用する以外に家庭に持ち帰っても良いルールとなっているのか。自由に使用できる状態だとよくない用途で使うことが懸念される。

○事務局

基本的には学校で使うこととなっているが、家庭に持ち帰り、課題や宿題を行っているようである。他の用途に使用しないよう、アプリケーションを制限しているとのことである。

[意見]

■テーマ②：施策No.3～7

●桑原貞行委員

図書館の貸し出しについて、五泉図書館、村松図書館のほか、小中学校との連携など充実していると感じる。ただ、図書館は自動車でないとなつて訪れるのが難しく、家からより近くにあるとよいと思う。相手があつてのことだが、例えばJA新潟みらいや市内の郵便局など、連携

協定等を結んでいると思うので、そのようなところに多少でも図書を設置できれば市民へのサービス向上になると思う。ルールづくりは必要なので担当にとっては手間かもしれないが、市民にとって有益ではないか。

●湯浅善章委員

「体育団体育成支援事業」の事業費が実施計画上、令和4年度より30万円増額となっているが、理由は何か。

また、施策No.6の成果指標「図書館カード登録率」は亡くなった方、転出された方を除いて計算しているのか。

○事務局

「体育団体育成支援事業」の事業費については資料がないため、次回回答したい。

「図書館カード登録率」は死亡者数が含まれた数字である。市民課に届けられた情報を図書館に共有するシステムになっていない。個人情報の問題も含めて整理し、連携方法について検討していくよう、担当課へ投げかけたい。

●梅田恒栄委員

ラポルテ五泉の開館時間が22時までとなっているが、そんなに遅くまで開館する必要はないのではないか。

数年前まで開催されていた「ごせん紅葉マラソン」について、市内外から人気が高かった大きなイベントであり、同じようなイベントを企画してもらえればと思っている。

○事務局

ラポルテの開館時間について、夜のイベントが21時ごろまで開催している場合があるため、22時までとしている。開館したばかりであり、今後の推移などをみながら変更する可能性もあるため、意見として担当課にお伝えしたい。

「ごせん紅葉マラソン」については実行委員会によって開催されるイベントであるが、コロナウイルスの影響も見ながら、各イベント担当課にて新たなイベントの開催検討、既存のイベントの内容再検討などを行っていききたい。

[意見]

■テーマ③：施策No.8、9

●加藤恵子委員

高齢者ボランティアの方はどのような活動をされているのか。

高齢者の方ができるボランティア活動の幅を広げるなどといった事業は考えていないか。今の70代の方は非常に元気であり、何かしたいと思っている高齢者に活動の場がないことはもったいないと思っている。何回か行ったら楽しみがあるような仕組みを作ってもらえたらと思う。

○事務局

高齢者ボランティアは、高齢者の活動を支えるボランティアの方を指している。

詳しい事業まで把握できておらず申し訳ないが、担当課に意見として情報提供したい。

●湯浅善章委員

お茶の間サロン参加者数が成果指標から外れたが、他の施策においてもお茶の間サロンは多く言及されており、地域にとって重要ではないかと思う。シルバー人材センターの会員数を外してお茶の間サロン参加者数を入れてもらいたい。

また、成果指標と添付のグラフの数値に差があるため、修正をお願いしたい。

○事務局

社会活動への参加の促進ということで、シルバー人材センターの会員数を成果指標に入れたと聞いており、意見として担当課にお伝えする。

数値の誤差については修正する。

## 9. その他

・次回のスケジュールについて

令和3年10月28日（木）午前9時30分から開催することを確認。

## 10. 閉会

以上